「街・川・海にごみのないきれいな大阪」をめざした事業連携協定に基づく取組み

「ミズカラプロジェクト」について

MIZKARA PROJECT

大阪府

ミズカラプロジェクト運営事務局

CitySUP Japan CitySUP Association

MIZUBE AB 一般社団法人 水辺ラボ

2026年8月

現状の課題と事業連携協定の意義

現状の課題　まちのごみが川から海へ“ごみのリレー”が大きな課題



大阪湾のプラスチックごみの状況

多くのプラスチックごみが大阪のまちから川を通じて大阪湾へ流入し環境や景観の悪化へつながっている。

公民連携で取り組むことが重要

プラスチックごみの削減に向けては、公民連携で一体的に取り組むことが重要。

本協定の意義

大阪府では「おおさか海ごみゼロプラン（大阪府海岸漂着物等対策推進地域計画）」において、「2030年度に大阪湾に流入するプラスチックごみの量を半減する」ことを目標に川や海の浮遊ごみ対策に取り組んでいる。

プラスチックごみの削減に向けて、府内の川や海で、府民や観光客などが参加できる新しい浮遊ごみ回収プログラムやごみゼロに向けた普及啓発活動を実施する**『ミズカラプロジェクト』**を公民連携で推進し、**『街・川・海にごみのないきれいな大阪』**に資する取り組みを継続的に実施する。

ミズカラプロジェクトについて

ミズカラプロジェクトについて

府事業「令和7年度OSAKAごみゼロ水上ツアー推進事業」において、府内の川や海で府民等が参加できる新しい浮遊ごみ回収プログラム等を継続的な取組とすることを目的に「ミズカラプロジェクト」を立ち上げた。

楽しみながら参加できるごみ拾いツアーや環境学習、拾ったごみを資源としたアップサイクル等を通して、身近な環境を自ら大切にする意識を府民に広め、多様な主体が一体となって「街・川・海にごみのないきれいな大阪」をめざすプロジェクトである。



ミズカラプロジェクトの「ミズカラ」には、「水から」水辺からはじめるという意味と、「自ら」自分から、多様な主体の参画を促す意味を込めた。

ミズカラプロジェクトについて

取組内容

楽しみながら参加できる**水辺のごみ拾いツアー**や**環境学習**、拾ったごみを資源とした**アップサイクル**など、気軽に参加できる環境活動を通して水辺の現状を学び、身近な環境を自ら大切にする意識を広めていく。





実施体制

民間企業・団体が主体となり、大阪府と連携して取り組む。

ミズカラプロジェクト運営事務局

- ひと・まち・水辺をつなぎ、水辺キレイツアーや普及啓発活動の企画・運営・広報PR等を行う。

(一社)日本シティサップ協会
水上アクティビティのノウハウを活かした水辺ツアーや環境学習ツアーの企画・運営・広報等を担当。

(一社)水辺ラボ
地域連携や拠点運営ノウハウを活かした普及啓発プログラムの企画・運営・広報等を担当。



大阪府

- プロジェクトの広報PR、関心のある企業・団体等とプロジェクトの橋渡し、後援などによる支援等の実施。

企業・団体・府民

- 水辺キレイツアー、環境学習プログラム等の実施(企業、団体に応じたオリジナルツアー・プログラムのアレンジが可能)
- 寄付・協賛等によるプロジェクト支援

取組方針

それぞれの強みを活かし、１～３の取組方針に基づき、府民等が楽しみながら参加し
海洋プラスチック問題について考える機会を創出し「おおさか海ごみゼロプラン」の実現に貢献する。

1 水辺キレイツアーの実施

- 府民や観光客等が楽しみながら参加でき行動変容を促すような、浮遊ごみ回収プログラム（水辺キレイツアー、環境学習プログラム、アップサイクル体験等）を企業・団体等と連携しながら実施する。

2 海洋プラスチックごみ問題に関する普及啓発活動

- 企業・団体・府民等と連携した取組を推進するため、ミズカラプロジェクト運営事務局及び大阪府の関連イベント等で、ミズカラプロジェクト紹介等を通して海洋プラスチックごみ問題の普及啓発活動を実施する。

3 ミズカラプロジェクトの情報発信

- 多様な主体との連携を推進するため、ミズカラプロジェクトの取組状況等の情報発信を行う。

「ごみのリレー」から「水辺キレイのリレー」へ

水から 自ら はじめよう